

【様式2】

食育月間以外の月の取組
(6月を除いた4月～12月までの実績)

提出都道府県名	宮崎県																									
取組市町村名	全域																									
取組の名称	映画を活用した食育の普及啓発																									
実施時期	平成29年4月～5月																									
取組内容	<p>■取組の狙い 宮崎県では、平成29年1月に改定した「Karada Goodな宮崎づくり」(宮崎県食育・地産地消推進計画)では、「食や命の大切さを伝える普及・啓発方法」として食育映画の上映を新たな手法として位置づけたところである。 食育・地産地消の普及啓発活動の一環として、県内各地で食育啓発映画を上映することにより、県民に対して食や健康、農業に関心を持つ機会を創出し、「食」と「健康」を見つめ直すきっかけとなった。 また、市町村、企業、農業団体、教育関係者が連携して上映会開催を推進することにより、食育関係者の連携構築を目指した。</p> <p>■内容 「はなちゃんのみそ汁」を県内3市町で7回上映し、3,008名を動員。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日時</th> <th>市町村</th> <th>会場</th> <th>動員数</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4/15(土) 4/16(日)</td> <td>日向市</td> <td>日向市中央公民館</td> <td>710</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>5/27(土) 5/28(日)</td> <td>延岡市</td> <td>延岡総合文化センター</td> <td>1,878</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>5/26(金)</td> <td>高千穂町</td> <td>農村改善センター</td> <td>420</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td colspan="3">計</td> <td>3,008</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table>	日時	市町村	会場	動員数	回数	4/15(土) 4/16(日)	日向市	日向市中央公民館	710	4	5/27(土) 5/28(日)	延岡市	延岡総合文化センター	1,878	2	5/26(金)	高千穂町	農村改善センター	420	1	計			3,008	7
日時	市町村	会場	動員数	回数																						
4/15(土) 4/16(日)	日向市	日向市中央公民館	710	4																						
5/27(土) 5/28(日)	延岡市	延岡総合文化センター	1,878	2																						
5/26(金)	高千穂町	農村改善センター	420	1																						
計			3,008	7																						
																										
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>※28年7月以降、 11市町村で27回、 計7,236名を動員</p> </div>																									

【様式2】

食育月間以外の月の取組

(6月を除いた4月～12月までの実績)

提出都道府県名	宮崎県
取組市町村名	宮崎市
取組の名称	「MVP350特別企画 食育・地産知ショー2017inみやざき」の開催
実施時期	平成29年12月19日(火) 12:00～17:00
取組内容	<p>1. 開催目的 健康寿命の延伸には、食や運動など多くのことが関係しますが、「食」は生きる上で基本となるもので、生活習慣病の予防や健康に生活するためには、特に重要と考えられます。しかしながら、生活状況や社会環境の変化にともない、日本人の「食」が、大きく変化し、伝統的な食文化や健康的で安心・安全な食生活が減少傾向であるのが実情です。 全国有数の野菜生産地である本市も例外ではなく、宮崎県民の野菜摂取量は厚生労働省が推奨する1日あたり350gに達していません。平成27年度には、「野菜生産・消費、健康寿命日本一推進宣言」を行い、『MVP350』を合言葉に、健康につながるための野菜摂取量350g以上を目指しています。健康寿命の延伸が今後の大きな課題として、様々なライフステージに合わせた食育や食生活改善の必要性を考え、市民を対象に健康づくりの契機になることを目的に開催しました。</p> <p>2. 開催概要 主催 宮崎市 共催 宮崎市食育・地産地消推進会議 後援 九州農政局、宮崎県など41団体 会場 宮崎市民プラザ4階ギャラリー 参加者 約300人</p> <p>3. 開催内容 (1)シンポジウム ①映画上映 『いただきます～みそをつくるこどもたち～』 ～和食給食スタイルで有名な福岡市・高取保育園のドキュメンタリー映画 ②映画監督講話 Vin Oota 氏 『食べたものが、あなたになる。～地産地消という「食養生」～』 ～食生活を改善したことで自身の病気を乗り越えた体験などの講話 ③トークセッション Vin Oota氏 (映画監督) 國武 久登氏 (宮崎大学副学長) 石本 由美子氏 (ひなたほいくえん園長) 鬼塚 ルリ子氏 (宮崎女性農業者組織 PAM会長)</p> <p>(2)後援団体等による展示 宮崎市産の農産物の紹介、野菜料理の紹介、各種団体の活動紹介、学校給食の紹介等</p>
	  
	<p>映画監督講話</p> <p>トークセッション</p> <p>展示コーナー</p>

【様式2】

食育月間以外の月の取組
(6月を除いた4月～12月までの実績)

提出都道府県名 政令指定都市名	宮崎県
取組市町村名	小林市
取組の名称	親子料理教室の開催
実施時期	5月13日
取組内容	<p>実施者:小林市立三松中学校 家庭教育学級 対象:三松中学校生徒及び保護者 参加者: 35名 作った料理:「鰹のたたき」、「鰹飯」、「鰹の揚げ物」</p> <p>小林市立三松中学校の家庭教育学級では、親子で楽しく「食」について考え、宮崎の旬の食材を使った料理を堪能することを目的に、親子料理教室を開催し、35名が参加しました。各グループごとに1本の鰹をさばきながら、「鰹のたたき」、「鰹飯」、「鰹の揚げ物」等を親子で調理し、旬の食材についてはもちろん、料理に対する知識や関心が高まるとともに、親子の絆も深まりました。</p>
	   

【様式2】

食育月間以外の月の取組

(6月を除いた4月～12月までの実績)

提出都道府県名 政令指定都市名	宮崎県
取組市町村名	日南市
取組の名称	地産地消交流給食
実施時期	平成29年9月～平成30年3月
取組内容	<p>学校給食に日南市でとれた食材を使用し、さらに生産者とともに会食をすることで、児童生徒に地域農業・漁業と地域農水産物の良さについて理解と関心を深めてもらいました。</p> <p>(第1回目) 日 時:平成29年9月11日(月) 12時30分～13時05分 実施校:日南市立油津中学校 対象者:2年1組(30名) 出会者:生産者、日南市教育委員会学校教育課長、栄養教諭 献 立:白ごはん、さつま汁、さんまの生姜煮、いんげんのゆかり和え、牛乳 地産地消食材:早期米 (早期米は、市内全小中学校の給食で提供し、実施校以外にもリーフレットを配布しました。)</p> <p>(第2回目) 日 時:平成29年10月20日(金) 12時25分～13時00分 実施校:日南市立吾田中学校 対 象:1年1組(36名) 出会者:生産者、日南市教育委員会学校教育課長、栄養教諭 献 立:コッペパン、野菜スープ、カレービーンズオムレツ(付け合せ:ブロッコリー) みかん、牛乳 地産地消食材:みかん(品種:日南1号) (みかんは、市内全小中学校の給食で提供し、実施校以外にもリーフレットを配布しました。)</p> <p>(第3回目) 日 時:平成29年12月14日(木) 12時10分～13時00分 実施校:日南市立飫肥小学校 対象者:3年2組(28名) 出会者:生産者、副市長、日南市教育委員会学校教育課長、栄養教諭 献 立:麦ごはん、高野豆腐の卵とじ、たたききゅうり、牛乳 地産地消食材:きゅうり (きゅうりは、中央共同調理場受配校の給食で提供し、実施校以外にもリーフレットを配布しました。)</p> <p>(実施予定) 第4回目 実施日:平成30年1月25日(木) 実施校:日南市立大堂津小学校 地産地消食材:ピーマン 第5回目 実施日:平成30年2月中 実施校:日南市立細田中学校 地産地消食材:まぐろ 第6回目 実施日:平成30年3月中 実施校:日南市立南郷小学校</p>